

柏原市公共施設等再編整備基本計画【概要版】

1 計画の位置づけ

本市では、人口増加に伴い、公共施設を整備してきました。これらの公共施設の中には、建築後30年以上経過するものが全体の6割近くを占めており、建替えや大規模な改修が必要となる時期を迎えています。これらの公共施設の建替えや大規模改修には多額の経費が見込まれ、生産年齢人口の減少に伴う税収の減少や、高齢化に伴う社会保障関連経費の増大など厳しい財政状況にある中では、今ある全ての公共施設を同じ規模で維持し続けることは困難な状況となっています。また今後、人口減少や年齢構成の変化に伴って、公共施設へのニーズも変化するものと考えられます。

本計画は、「柏原市公共施設等総合管理計画」を上位計画として、各種公共施設（建物）などの関連計画を踏まえ、公共施設の集約化、複合化等を検討し、必要なサービス水準を確保しつつ、公共施設の最適化を図るための基本的な計画として策定します。

2 公共施設の抱える課題

本市の公共施設を取り巻く状況から、課題を次のように整理しました。

（1）将来の総人口・人口構成に対する課題

- ・ 将来的に、総人口の減少と人口構成の変化が見込まれます。
- ・ 人口規模・人口構成の変化に応じた公共建物の再編・統廃合等が必要となっています。

（2）築年数の経過に対する課題

- ・ 老朽化・陳腐化等により、維持管理、修繕にかかる費用が増大することが想定されます。
- ・ 耐震診断、耐震改修が未実施の公共施設は早急な対策が必要です。

（3）財政運営に対する課題

- ・ 厳しい財政状況の中、施設総量や施設配置の適正化を検討する必要があります。
- ・ 施設総量を適正化するため、機能が重複する施設の解消が必要です。

（4）環境・災害に対する課題

- ・ 脱炭素化に向けて、再生可能エネルギーの活用など環境への取組が求められています。
- ・ 災害による被害が予測される地域を考慮した施設の集約化が必要です。

（5）行政サービスの継続に対する課題

- ・ 老朽化した施設を廃止し、継続して使用する施設の長寿命化の推進が必要です。
- ・ 私有地に立地する公共施設については、移転など公共施設の安定的な利用に留意します。

（6）未利用・低利用資産の活用に対する課題

- ・ 余剰スペース等の新たな活用方法や売却による財源化等の検討を行う必要があります。

3 再編整備方針

本計画における再編整備方針は、柏原市公共施設等総合管理計画と、令和4年8月に実施した市民意向調査の結果を踏まえた「計画の方向性」、公共施設の抱える課題を踏まえた「課題に対する対応方針」、柏原市都市計画マスタープランによる「まちづくりの方向性」を整理し、次のように定めました。

- ① 施設の統廃合・機能再編により施設総量の削減を図り、集約・複合化等により、賑わいとコミュニティが生まれる多世代交流拠点の構築を図ります。
- ② 既存の低利用・遊休状態にある施設を有効に活用し、社会的要請への対応を含めた新たな施設として再利用・活性化を図ります。
- ③ 公共サービスの継続性を担保するため、再編対象施設跡地の有効活用を含めて財政負担を極力なくした再編計画とします。

4 再編対象施設

施設の老朽化、耐震性、災害リスク、継続利用の安定性、上位関連計画による施設の位置づけを考慮し、再編の対象施設を次の2建物4施設とします。

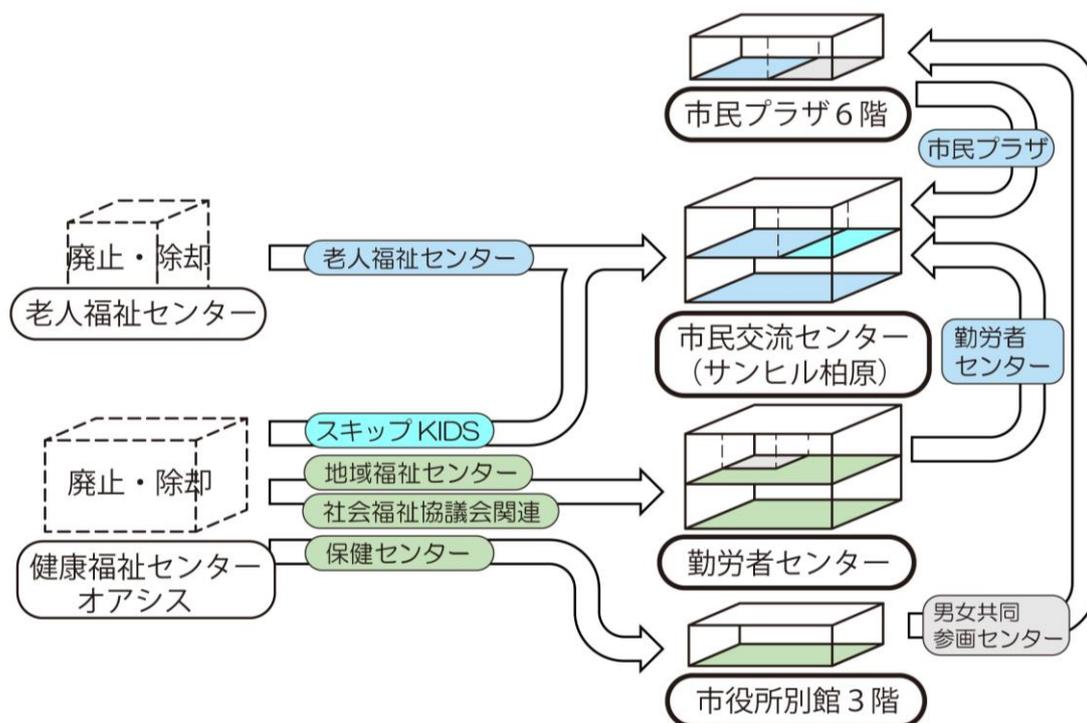
再編対象施設	建築年	構造	延床面積
老人福祉センターやすらぎの園	別館 1958 本館 1981	W造 RC造	2,132.17 m ²
健康福祉センターオアシス（保健センター、子育て支援センタースキップKIDS、地域福祉センター）	1999	RC造	3,781.70 m ²

5 再編整備基本計画（再編整備プラン）

（1）再編整備プランの概要

本計画の再編整備プランの概要は次のとおりです。

再編対象施設	移転先施設	整備内容
老人福祉センターやすらぎの園 柏原市立勤労者センター 健康福祉センターオアシス （子育て支援センタースキップ KIDS） ※療育教室機能含む 市民プラザ	市民交流センター （サンヒル柏原）	内装改修、設備改修
健康福祉センターオアシス（保健センター）	市役所別館 3 階	内装改修、設備改修
健康福祉センターオアシス（地域福祉センター）	勤労者センター	内装改修、設備改修
男女共同参画センター（フローラルセンター） （市役所別館 3 階）	市民プラザ 6 階	内装改修



6 再編整備プラン

(1) サンヒル柏原

[機能配置の考え方]

- ・ 会議室や多目的室等の貸館用の室は、既存施設であるサンヒル柏原の客室や宴会場などの室を活用します。
- ・ 貸館用の室の数や大きさは、既存施設の稼働率を参考に設定します。
- ・ 子育て支援センタースキップ KIDS は、既存と同等規模・機能を確保します。
- ・ 会議室や多目的室は可動間仕切壁や折り畳みテーブル、スタッキングチェアなどを配置し、多様なニーズに対応した利活用ができるように配慮します。
- ・ 子育て世帯の利用を促進するため、雨の日でも遊びや学びが体験できるプレイスペース、こどもの感性を伸ばす玩具を設置し、こどもの成長をはぐくむ場を設けます。
- ・ 子育て支援センタースキップ KIDS のトレーニングルームなどの各室には、療育教室で使用する吊下げ金具等を設置します。

<改修後のイメージ（内観）>



(2) 市役所別館3階

[機能配置の考え方]

- ・ 利用者が安心して利用できるよう、ユニバーサルデザインの視点とプライバシーの保護が要求される部屋については十分な独立性が確保されたプライバシーの保護を重視した環境づくりを目指します。
- ・ 市役所本館に配置されている「健康づくり課」や「子育て支援課」等の関係部署との連携を重視した利用しやすい環境づくりを目指します。

(3) 柏原市立勤労者センター

[機能配置の考え方]

- ・ 地域福祉の推進、介護支援、ホームヘルパー等の各種事業を実施する地域福祉センターを柏原市立勤労者センターに移転します。
- ・ 移転後は、柏原市立勤労者センターは、新たな地域福祉センターとなります。

[機能配置の条件]

- ・ 「就労準備支援事業くしら」、「地域就労支援センター」、「更生保護サポートセンター」、「ママスクエア」は、再編後の地域福祉センターに残ります。
- ・ 柏原市立勤労者センターのトイレは各フロアに男女各一つずつしか洋式便器が無いため、移転に合わせてトイレの洋式化を実施します。

(4) 市民プラザ6階

[機能配置の考え方]

- ・ 男女共同参画センター（フローラルセンター）を市民プラザに移転します。
- ・ JR 柏原駅前の好立地を活かし、利便性が高く、多くの市民が気軽に利用したくなる魅力ある環境づくりを目指します。
- ・ 市民が気軽に生涯学習活動や各種会議・研修、イベントなど様々な用途で活用できる機能とスペースを確保します。

7 事業計画

(1) 概算事業費と公共施設の削減量

事業全体の概算事業費と公共施設の削減量は以下のとおりです。

【概算事業費】

項目	細目	金額（千円）
工事費	解体工事費	487,900
	改修工事費	933,863
その他経費（設計費・工事監理費、備品購入費、移転費）		270,789
概算事業費		1,692,552

【公共施設の削減量】

施設名	削減量（㎡）
老人福祉センターやすらぎの園	2,132.17
保健センター、地域福祉センター（健康福祉センターオアシス）	3,553.20
子育て支援センタースキップ KIDS（健康福祉センターオアシス）	228.50
合計	5,913.87

※ 「柏原市公共施設等総合管理計画(H29.3)」の施設総量（196,129.66㎡）比で、およそ3%の削減

(2) 事業スケジュール (案)

	2023 年度 (1 年目)	2024 年度 (2 年目)	2025 年度 (3 年目)	2026 年度 (4 年目)	2027 年度以降 (5 年目以降)
設計・工事	設計・改修工事 サンヒル柏原・市民プラザ6階・市役所別館3階・勤労者センター			解体設計・除却 健康福祉センター オアシス 老人福祉センター	
機能移転	継続運用・移転 保健センター・子育て支援センタースキップ KIDS・地域福祉センター（健康福祉センターオアシス） 老人福祉センター 勤労者センター 男女共同参画センター（市役所別館3階）			供用開始 保健センター ⇒ 市役所別館3階 地域福祉センター ⇒ 勤労者センター 子育て支援センタースキップ KIDS・老人福祉センター・勤労者センター・市民プラザ ⇒ サンヒル柏原 男女共同参画センター ⇒ 市民プラザ6階	
施設運用	継続運用 健康福祉センターオアシス 老人福祉センター			運用停止	